

公益社団法人日本技術士会鹿児島県支部

第48回CPD講演会（九州本部CPD・建設系CPD登録済）

- (1) 13:30~15:00 九州本部 2508092801A1-1
『未来につなぐ 日々の風景』
尾野 薫氏（宮崎大学地域資源創成学部）
- (2) 15:10~16:40 九州本部 2508092802A1-1
「画像は見る時代から、読み解く時代へ：AIによる視覚データの進化」
松田翔太氏（第一工科大学工学部情報・AI・データサイエンス学科）

日時：2025年8月9日（土） 13:30~16:40（途中休憩10分）

会場：鹿児島市勤労者交流センター 7F 第1会議室
（よかセンター：JR鹿児島中央駅前）

会費：日本技術士会会員 1,000円
非会員 1,500円
大学生・高専課程生 無料

CPD単位：3.0単位

定員：60名（先着順） ※事前予約者のみ参加できます。

：20名（オンライン：鹿児島市以外に在住会員。県外も可）

※参加確定者には、8月4日（月）に参加案内及び注意事項をメール配信
オンライン配信については、都合により中止する場合があります。

申し込み締め切り 8月1日（金）正午

※申込定員に達した時点で募集を締め切ります。

受講証明書について

※**受講証明書は、すべての講演を受講された方にものみ発行**します。

本CPD講演会は、【建設系CPD協議会】認定プログラムです。

※他学協会の受講証明書を希望の方は、申込みフォームに

【申請者情報：会員番号】を入力してください。

【**第48回CPD講演会等申込み先URL**】

鹿児島県支部HP、下記URL、または
下記QRコードから申し込んでください。

<https://forms.gle/9oDEJjeF8vAWnGUv5>



意見交換会

日 時 : 17:30~19:30
場 所 : 後日ご連絡予定
対 象 : 会員
会 費 : 5,000 円程度

参加希望の会員は、上記申込フォームからお願いします。

次ページに【講演概要】があります。

以上。

講演概要

■講演（1）

講演タイトル：「未来につなぐ 日々の風景」

講師：尾野 薫氏（宮崎大学地域資源創成学部）

講演概要：

“我々は日々、様々な経験をし、多様な風景を目にしながら暮らしている。何を「風景」として捉えるのか？という問いに対する回答は、実に多様である。同じ風景を目にしている、これまでの経験や過去の出来事によって感じ方、とらえ方が違ってくのが「風景」であり、一人ひとりの中に「風景」が存在する。日々のくらしの積み重ねの中で表出している目の前の風景には価値はあるのか？と問い直すこと、先入観を捨て新たな視点で「風景」とその「価値」を探ることに意義はあるのか？と考えることが、地域では求められている。

また、人口減少下における地域の持続性を高めるために、観光的・産業的な魅力の向上や、それを活用した交流人口の増加なども同時に取り組んでいかなければならない。地域の将来像を見据えて、津波防災以外の観点も大切にしながら、防災力強化が求められている地域もある。海岸堤防の外部性の緩和策は、海岸堤防の線形や形状の計画として考えるのではなく、人口減少下における将来的な都市像、市街地のコンパクト化、交通計画など、町全体の課題を同時に解決していくための計画として捉え、災害後を念頭に置いた事前復興の考え方や流域治水のような他の災害に関する考え方などを総合的に組み合わせることが重要である。街の魅力など防災以外の重要なポイントや、人口減少下における都市の将来像、事前復興の姿を見据えた時には、人口減少に対応したまちづくり政策と防災対策を一致・総合的に実施していくことが求められる。この時、当たり前の日常の中で見過ごしている風景の中には、自然の猛威から地域を守り、自然からの恵みを享受するバランスを保ちながら現在まで受け継がれてきたものも、失って初めてその価値に気がつく風景もある。地域で守りたい風景や暮らしについて、何を未来へとつないでいくのか、今一度考える一助となることを願う。”

キーワード： 風景, 景観, 日常, 地域資源, 防災・減災

■講演（2）

講演タイトル：「画像は見る時代から、読み解く時代へ：AIによる視覚データの進化」

講師：松田翔太氏（第一工科大学工学部情報・AI・データサイエンス学科）

講演概要：

AIと画像処理の発展により、画像から“意味”を読み取る技術が実用段階に入りつつあります。本講演では、特に物体検知とセグメンテーション技術に焦点を当て、画像内の物体や領域を画素単位で分類・可視化する仕組みとその応用について解説します。建築や医療など、幅広い分野で活用が進む本技術は、従来の目視確認や経験則に依存した判断を支援し、より客観的で高精度な業務遂行を可能にします。講演では、非専門家にも理解しやすいよう視覚的なデモを交えながら、AIがどのように画像を“理解”するのかを紹介し、現場導入時の課題や無料ツールの活用方法にも触れます。視覚データの価値を再発見し、業務や研究への応用の可能性を考える機会とします。

キーワード： 画像処理、セグメンテーション、AI